

平成 26 年度第 2 回苫小牧市男女平等参画審議会会議録（概要）

- 1 日 時 平成 27 年 2 月 17 日（火） 午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分
- 2 会 場 苫小牧市民活動センター 3 階講習室
- 3 出席者 苫小牧市男女平等参画審議会委員 8 名出席（2 名欠席）
事務局 市民生活部（部長、男女平等参画課長、主査、嘱託員）
- 4 傍聴者 なし
- 5 会議次第
（1）苫小牧市男女平等参画都市宣言文朗読 （2）部長挨拶 （3）議事
- 6 議事概要
（1）男女平等参画に関する企業実態調査結果報告（集計）について
（2）日本女性会議誘致活動について
（3）その他
※資料に基づき事務局から説明
※（2）については資料の代わりとして DVD を上映

主な意見・質疑

- （1）男女平等参画に関する企業実態調査結果報告（集計）について

意見

- 回収率が 36.8%というの低いと感じました。内容でも、男女平等参画都市宣言をしたにも関わらず、意識が変わっていないのではないかと感じられて残念に思いました。
- 回収率は今までのアンケートと比較すれば良いと思います。
- 一部の企業団体では、男女平等参画都市宣言をしたという意識が感じられたので、この意識がどのように浸透していくのか、これからの取り組みに期待しています。
- 宣言をしたから「終わり」ではなく、「始まり」だということです。企業も市民も、宣言を意識して推進していかなければならないという実態がよく分かりました。

質問

○苫小牧市内では、大企業に対し、中小企業に分類される企業が99%を占めているといわれていますが、今回のアンケートで回答があった企業のうち、大企業と中小企業の割合はどの程度でしょうか？

回答

○大企業と中小企業の割合については集計していませんが、事業規模として従業員数を回答していただいているので、今後集計することは可能です。また、御意見にありました回収率についてですが、平成23年度に行いました市民意識調査の回収率が24.9%で、他に毎年市で行っている労働基本調査では、対象は異なりますが、約50%と聞いております。今回の36.8%については、良い結果だと考えております。

意見

- 訴え続けることが大切だと感じました。
- 苫小牧では中小企業が99%で、そこで働く方が大半です。大企業ばかりに目を向けていても実態は変わらないと思います。人材育成も行わなければなりませんし、中小企業では雇う余裕がないのが実情です。それを行政がどのように支援するのが課題だと思います。また、女性の社会進出は今や欠かすことができません。海外からの視点も取り入れて事業に反映して欲しいです。
- DVについて、経済的な負担を強いることもDVの一種ですが、その認知度は低いと思います。経済的DVを受けた方の中に、経済的な問題で働こうとして子どもを預けようと、相談機関に相談して「経済的なDVですよ」と言われたという例もあります。また、若い世代の金銭感覚が変化しており、現金を持たずクレジットカードや電子マネーで支払いをする方が増えているようです。状況や世代に合わせた取り組みも必要だと感じています。

質問

○退職した従業員について、男性職員が介護等を理由に辞めていますが、年齢構成は調べていますか？もし30代くらいだとすると、その後の生活が心配になります。介護の必要性を感じる年齢の頃、すでに退職している場合が多いように感じていましたが皆さんはいかがでしょう？

意見

○新聞等の報道で、介護事件の加害者が40代というのを目にします。若年性認知症などもあるので、一概に年齢を特定するのは難しいと思います。

○企業の支援体制にも興味があります。資料によると、1対1の話し合いを推奨する企業や支援組織を作っている企業があるようです。企業規模に関わらず、このような取組みは必要だと思います。

質問

○ワークライフバランスについてお尋ねします。回答で『よく理解している』『だいたい理解している』等、無回答を除いて4つに分類されていますが、ワークライフバランスを端的に言うと、どのような説明をしたらよいですか？

回答

○先日、パク・スックチャさんという方を講師にお招きして、ワークライフバランスをテーマにした講演会を行いました。その際「仕事と生活の調和」と文面で表現しております。要は長時間労働等の仕事の見直しをし、自分達の家庭生活や地域生活にも時間を費やし、女性だけではなく、男性も自分がやりたいことを出来るような働き方をしましょう。働ける社会にしましょう。と言うのが簡単な説明になります。

意見

○先程の回収率について、回答しなかった事業所がどのような理由で返さなかったのか、理由の調査も必要だと思います。この理由を考慮して次回の調査を行えば、回収率は向上するのではないのでしょうか。また、業種により男女比が異なります。業種によって回答が変わると思われるので、業種ごとに事業者からの意見やニーズを収集することも課題だと考えます。

○今回の対象は5人以上の事業所なので、5人だけの事業所も含まれていますよね。例えば、その5人だけの事業所で産休や介護等で誰かが長期休暇を取得する場合、現場は成り立たないのが現状だと思います。すると、整備がされていない事業所は回答できないのではないのでしょうか？事業所の名前と人数は書いても、実際中身が書けないから出せないと思った事業所もあると思います。

○確かに、このアンケートは企業がどう取り組んだか、そしてどこまで出来たかという内容でした。企業が男女平等参画を理解しているかどうかでも、答えが違うのではないかと思います。2月にワークライフバランスの講演会を行った際、企業の方に参加していただくと呼びかけを行いました。反応が薄い事業所もありましたが、結果として多くの方に参加していただきました。おそらく、回答がなかった事業所でも努力をしていると思います。ただ、男女平等参画都市宣言したことによって、どのような社会を目指しているのか、どう社会が変わるのか、まだ企業に伝わっていないというのは感じます。

- 浸透させていくのは難しいことかもしれませんが、やりがいを感じます。これから良くなっていくためにも、現状を知ることが出来て良かったです。
- 近年、学校では混合名簿が多くなりました。おそらくコンピューターの発達で、混合でも管理できるようになったからなのだと思いますが、とてもよいことです。平等意識を育てる教育というのは、これから社会に出る、特に中学生から高校生にかけてきちんとやるべきだと思います。デートDVの問題等、女性の意識向上が特に大切だと思います。

回答

- この調査は、今後作成する次期計画に反映されると思います。先ほど回答が来なかった企業への追加調査が必要ではないかという、貴重な意見を頂き、その通りだと思いました。ただ、今回は無記名式で行ったため、調査することが出来ません。今となって後悔しているのですが、今後反映させていこうと思いました。ありがとうございました。

(2) 日本女性会議誘致活動について

意見

- 約2000名の人があるというのは想像し難いのですが、大変そうだと思います。
- 女性会議は「女性」とあるから男性は行けないと、思っている方もいるようなので、男性の参加を促す呼びかけが必要だと思います。
- 男性の参加は以前からの課題で、「女性も男性も」として欲しいという男性からの要望があります。苫小牧では男性も女性も関係なく集まれる女性会議にしたいです。「日本女性会議」と言う名称を、苫小牧から変えた方が良くと思います。
- 初めはよかったのかも知れませんが、今は「男女共同」や「男女平等」に法律等も名称が変わっているので、男女でなければならないですね。疑問に思って参加していた方も多かったと思うので、是非苫小牧で開催するときは、男女というのをはっきりと明記して開催していただきたいです。男性の方から声が出て有りがたいです。
- 先入観で、拒否はしていないと思うが女性だけの会議なのだと、限定されているような感覚を持つのではないかと思います。男性も参加してもいいという意識がもっと広がることを願います。
- 大会名称に「男女」は入れた方がいいと思います。男女と書いて「ともに」とも読めますし、「あなたとわたし」でもいいし、やわらかい言葉を使い、男性も参加してもらえるような名称にしたらいと思います。

○女性達は勉強するだけではなく、買い物もします。男性の参加を促しますが、参加者は女性が多いのが現状です。まちの活性化にもなるので、おもてなしも大切です。皆さんや苫小牧市民総出で活動できたらいいと思います。

(3) その他

提案

○男女平等参画に関する市民意識調査についてお願いがございます。毎年、御審議いただいております、男女平等参画基本計画が平成29年度をもって終了いたします。その後継計画を策定するにあたり、市民意識調査を来年度実施したいと考えております。そこで皆様に前回の市民意識調査の報告書を送付させていただきました。前回の調査を元に来年度の調査内容を決定することになると思いますので、これについて御意見をいただけますよう、よろしく申し上げます。

質問

○調査対象は個人ですか？

回答

○はい。前回と同様に無作為に抽出した個人を想定しています。実施時期は来年度末を予定しておりますので、ここで難しいようであれば、後日、男女平等参画課へ御意見をお寄せいただくと大変助かります。

まとめ

○分かりました。今ここで考えるのではなく、それぞれ吟味していただいて、男女平等参画課に御連絡していただくということで、皆様よろしく申し上げます。

これをもちまして、平成26年度第2回苫小牧市男女平等参画審議会を終了させていただきます。この2年間男女平等参画都市宣言などの大事業のご審議など、多大なご尽力いただきまして重ねて感謝申し上げます。なお、委員の皆様の任期は3月31日までとなっておりますので、その間に何かございましたらよろしく申し上げます。本日、委員の皆様にはお忙しいところ御出席いただきまして、誠にありがとうございました。